

理科 物理基礎 1年 普通科 2単位

目 標		運動とエネルギー、波、電気に関する基本的な見方や考え方に基づき、観察・実験などを通して原理・法則を系統的に理解する。また、さまざまな現象に応用して考察できるようにする。	
使用教科書		数研出版 改訂版 物理基礎	
副 教 材		数研出版 三訂版 リード Light 物理基礎	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
4月	4/10～	運動の表し方 ・速度 ・加速度 ・落体の運動	○等速直線運動 についてv-t,x-tグラフがもつ性質を理解できる。〔思・知〕速度がベクトル量であることをふまえて合成・分解の考え方を理解している。〔思・知〕加速度の求め方を習得している。〔技〕 ○自由落下・水平投射等の放物運動を鉛直、水平方向に分解して考え、特徴を把握することができる。〔関・知〕
	4/17～ 4/24～ 5/1～		
5月	5/8～	運動の法則 ・力とそのはたらき ・力のつりあい ・運動の法則 ・摩擦を受ける運動	○力の合成・分解ができる。力がつりあう条件を理解し、つりあいの式を書くことができる。〔思・知〕 ○ニュートンの運動の三法則を理解し、運動方程式の適用が確実にできる。〔思・技〕 ○静止摩擦力、最大摩擦力、動摩擦力について理解している。空気の抵抗力がはたらく場合の運動について理解している。〔知〕
	中間考査		
6月	5/22～	・液体や気体から受ける力	○圧力・浮力について、具体例をふまえて理解している。〔関・知〕
	5/29～ 6/5～ 6/12～ 6/19～ 6/26～		
7月	7/10～	仕事と力学的エネルギー ・仕事 ・運動エネルギー ・位置エネルギー ・力学的エネルギーの保存	○仕事の定義を理解し、仕事をする量として運動エネルギーを求めることができる。重力による位置エネルギーと弾性力による位置エネルギーを理解し、保存力による物体の運動では、力学的エネルギーが保存されることや、動摩擦力や空気の抵抗がはたらくときは力学的エネルギーが保存されないことを考察できる。〔思・知〕
	7/18～ 8/25～		
8月	8/28～	熱とエネルギー ・熱と熱量 ・熱と物質の状態 ・熱と仕事 ・不可逆変化と熱機関	○熱・比熱・熱容量・熱量の保存、内部エネルギーについて理解している。〔知〕 ○熱と仕事の関係を理解し、エネルギーは相互に変換してもその総量は保存されることを理解している。〔思・知〕
	9/4～		
9月	9/11～	波の性質 ・波と媒質の運動 ・波の伝わり方	○波を表す基本的な量について理解している。また、観察・実験を通して、現象を説明できる。〔関・思・知〕
	9/19～ 9/25～		
10月	10/10～	音 ・音の性質 ・発音体の振動と共振・共鳴	○音は媒質中を伝わること、高さや強さについて理解している。〔知〕 ○観察・実験を通して、弦の振動・気柱の共鳴などについて理解している。〔関・思・知〕
	10/16～ 10/23～ 10/30～		
11月	11/6～	物質と電気抵抗 ・電気の性質	○静電気について説明できる。〔思〕
	11/13～ 11/20～ 11/27～		
12月	12/7～	・電流と電気抵抗 ・電気とエネルギー	○実験観察を通して、電気抵抗について理解している。〔知〕
	12/11～ 12/18～		
1月	1/9～	学年末考査	
	1/15～ 1/22～ 1/29～		
2月	2/5～		
	2/13～ 2/19～ 2/26～		
3月	3/12～		
	3/19～		
言語活動の充実のための学習活動		現象について、自分の考えを発表する。観察・実験の結果を予想したり、結果を分析して考察を自分の考えで表現する。また、表・グラフ・式・モデルなどを用いて、適切に自分の考えを表現する。	
評価方法		各定期考査・課題テスト・小テストにおける成績、実験レポートの結果・ノート提出を総合して評価する。	

理科 生物基礎 1学年・普通科 2単位

目 標		"生物に関する基本的知識を身に着けると共に、科学的・理論的な思考力を養う。また、実験を通して作業、レポートを作成、考察することで知識を深める。"	
使用教科書		数研出版「生物基礎」	
副 教 材		実教出版「サイエンスビュー 生物総合資料」三訂版 数研「リードlight 生物基礎」	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
4月	4/10～	導入 顕微鏡実験	実験を通し、科学的な考え方ができている。(関・思・技・知) 進化の視点をふまえた上で、生物の多様性と共通性が理解できている。(関・知)
	4/17～	生物の特徴	
5月	4/24～	・生物の多様性と共通性	原核・真核生物の違いと、真核生物の構造について理解する。(関・思・技・知) 生物の特性の一つである代謝について、エネルギー代謝も含めた上で理解している。(関・知)
	5/1～	・エネルギーと代謝	
	5/8～	・光合成と呼吸	
中間考査			
6月	5/22～	遺伝子とその働き	DNAの構造を知り、DNAを観察することで、理解を深める。(関・知・技) DNAや染色体の変化とともに細胞周期を理解している。(関・思・知) 転写・翻訳の経路を理解できている。(関・思・知)
	5/29～	・遺伝情報とDNA	
	6/5～	・遺伝情報の発現、配分	
	6/12～		
	6/19～		
期末考査			
7月	7/10～	生物の体内環境	体液や血球、循環系について理解できている。(関・思・知) ヘモグロビンの酸素の受け渡しの仕組みが理解できている。(関・思・知)
	7/18～	・体液と体内環境	
8月	8/25～	・腎臓と肝臓	心臓・肝臓・腎臓の働きを理解している。(関・思・知) 自律神経の働きを理解している。(関・思・知)
	8/28～		
9月	9/4～	・神経とホルモンによる調節	ホルモンによる調節機構を理解している。(関・思・知) 血糖量と体温の調節方法が理解できている。(関・思・知)
	9/11～		
	9/19～		
中間考査			
10月	10/10～	・免疫	免疫を担う細胞が理解できている。(関・思・知) 自然免疫と獲得免疫の流れがわかりかいてきている。(関・思・知) アレルギーなどの疾患について理解できている。(関・思・知)
	10/16～		
	10/23～		
	10/30～		
	11/6～		
	11/13～		
11月	11/20～		
	11/27～		
期末考査			
12月	12/7～	植生の多様性と分布	バイオームの概略を理解できている。(関・思・知) 植生における語句を理解できている。(関・思・知) 遷移の流れを理解できている。(関・思・知)
	12/11～	・さまざまな植生	
	12/18～	・植生の遷移	
1月	1/9～	・気候とバイオーム	生態系の概念と食物連鎖を理解できている。(関・思・知) 炭素、窒素の循環が理解できている。(関・思・知)
	1/15～		
2月	1/22～	生態系とその保全	
	1/29～	・生態系	
	2/5～	・物質循環とエネルギーの流れ	
	2/13～		
	2/19～		
学年末考査			
3月	3/12～	生物学に必要な化学知識	原子構造を理解できている。(関・思・知)
	3/19～		
言語活動の充実のための学習活動		授業中や実験時に結果を予想したり、結果を分析して考察を自分の考えで表現するために発表をする。 また、表・グラフ・式などを用いて、適切に自分の考えを表現する。	
評価方法		各定期考査・課題テスト・小テストにおける成績や取り組み、実験レポートの結果・ノート提出を総合して評価する。	

体育 1年男子 2単位

目標		運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	
使用教科書		現代高等保健体育・体育編(大修館書店)	
副教材			
時期	学習内容	評価規準	
4月	4/10 ～ 4/17	体育理論 (スポーツの歴史・文化的特性)	関: 社会の変化に伴うスポーツの必要性や意義に関心運動の歴史的経緯や文化的特性に関心を持ち生涯にわたってスポーツにかかわっていきこうと進んで学習に取り組もうとする。 思: 社会の変化に伴うスポーツの必要性や意義に関心運動の歴史的経緯や文化的特徴、生涯スポーツへの関わり方について自分の考えを整理している。 知: スポーツの意義や必要性、生涯にわたってスポーツとどのように関わっていけばよいかについて具体例を挙げている。
	4/17 ～ 4/28	体づくり運動 (体力を高める運動)	関: 体づくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるように体力の違いに考慮し、自己の役割を果たそうとしている。 思: 体力の向上を図るために計画を立て自己の課題に応じた運動の取り組みをしている。 知: 運動を継続する意義、運動の原則を理解している。
5月	5/1 ～ 5/19	陸上競技(走・投)	関: 陸上競技の学習に自主的に取り組み、陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。 思: 自分の能力に適した目標記録や課題を設定している。 技: 自分の能力に適した技能のポイントをつかみ、技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。 知: 陸上競技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を理解している
	5/24～	体育理論 (スポーツの歴史・文化的特性)	上記体育理論に同じ
6月	5/26 ～ 7/14	球技(ソフトボール)	関: 球技の学習に自主的に取り組み、フェアなプレイを大切にしようとしている。 思: 仲間やチームに対して技術的な課題を指摘し、合意を形成するための適切な関わり方を見付けている。 技: 攻防を展開するための安定したバット操作とボール操作、連携した守備などの動きができる。 知: 球技に関連した体力の高め方について学習した具体例を理解している。
	8/25 ～ 8/28	体育理論 (スポーツの歴史・文化的特性)	上記体育理論に同じ
7月	8/28 ～ 9/29	球技(ソフトボール)	上記球技に同じ
	10/2 ～ 11/9	武道(剣道)	関: 武道に主体的に取り組み、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 思: 基本技を身に付けるために課題をもっている。 技: 相手の動きの変化に応じた動作から基本となる技を身につけ、練習で使うことができる。 知: 剣道の伝統的な考え方、特性、技の系統性、基本動作や対人技能の構造について知っている。
8月	11/13 ～ 12/8	球技(サッカー)	関・思・知は上記球技に同じ 技: ゴール前への侵入などから攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きができる。
	12/15 ～ 12/21	体育理論 (スポーツの歴史・文化的特性)	上記体育理論に同じ
9月	1/12 ～ 1/30	器械運動(マット)	関: 器械運動の学習に自主的に取り組み、互いに助け合い教え合おうとしている。 思: 自分の技能・体力の程度に応じて、目指す技や技の組み立てを見付け、その課題に応じた練習方法を選んでいる。 技: 回転系や巧技系の技で演技するための、滑らかに安定した基本的な技ができる。 知: 器械運動の楽しみ方や学習の進め方、技の名称や行い方を知っている。
	2/2 ～ 2/23	器械運動(跳び箱)	上記器械運動に同じ
10月	3/13～	体育理論 (スポーツの歴史・文化的特性)	上記体育理論に同じ
	3月		
言語活動の充実のための学習活動		・体を動かす活動を通して、コミュニケーションや感性・情緒に関する学習活動及び知的活動を充実する。 ・各運動場面で、体を動かす機会を適切に確保した上で、相手や仲間のよい演技に賞賛を送る、互いのよい演技を認め合う、互いに教え合うなどのコミュニケーションを図る学習活動を充実する。	
評価方法		運動の技能、関心・意欲・態度や思考・判断及び知識・理解を総合して評価する。	

体育 1年女子 2単位

目標		運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	
使用教科書		現代高等保健体育・体育編(大修館書店)	
副教材			
時期	学習内容	評価規準	
4月	4/10 ～ 4/17	体育理論 (スポーツの歴史・文化的特性)	関: 社会の変化に伴うスポーツの必要性や意義に関心運動の歴史的経緯や文化的特性に関心を持ち生涯にわたってスポーツにかかわっていきこうと進んで学習に取り組もうとする。 思: 社会の変化に伴うスポーツの必要性や意義に関心運動の歴史的経緯や文化的特徴、生涯スポーツへの関わり方について自分の考えを整理している。 知: スポーツの意義や必要性、生涯にわたってスポーツとどのように関わっていけばよいかについて具体例を挙げている。
	4/17 ～ 4/28	体づくり運動 (体力を高める運動)	関: 体づくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるように体力の違いに考慮し、自己の役割を果たそうとしている。 思: 体力の向上を図るために計画を立て自己の課題に応じた運動の取り組みをしている。 知: 運動を継続する意義、運動の原則を理解している。
5月	5/1 ～ 5/19	陸上競技(走・投)	関: 陸上競技の学習に自主的に取り組み、陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 思: 自分の能力に適した目標記録や課題を設定している。 技: 自分の能力に適した技能のポイントをつかみ、技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。 知: 陸上競技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を理解している。
	5/24～	体育理論 (スポーツの歴史・文化的特性)	上記体育理論に同じ
7月	5/26 ～ 7/14	球技(バレーボール)	関: 球技の学習に自主的に取り組み、フェアなプレイを大切にしようとしている。 思: 仲間やチームに対して技術的な課題を指摘し、合意を形成するための適切な関わり方を見付けている。 技: 空いた場所をめぐる攻防を展開するための役割に応じた安定したボール動作ができる。 知: 技術の名称や行い方について学習した具体例を理解している。
	8/25～	体育理論 (スポーツの歴史・文化的特性)	上記体育理論に同じ
9月	8/28 ～ 9/29	球技(バスケットボール)	関: 作戦を立てたり、ルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。 思: 今もっている自分(自分のチーム)や相手(相手チーム)の技能の程度などを的確に把握し、その技能の程度に応じて作戦を立ててゲームをしている。 技: 今もっている技能を発揮してゲームを行うことができる。 知: 種目の特性や学習の進め方、集団的な技術や個人的な技術の構造、合理的な練習の仕方、練習計画の立て方を理解し、知識を身に付けている。
	10/2 ～ 11/9	球技(ソフトボール)	関・思・知は上記球技に同じ 技: 攻防を展開するための安定したバット操作とボール操作、連携した守備などの動きができる。
11月	11/13 ～ 12/8	球技(卓球)	関・思・知は上記球技に同じ 技: ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。
	12/15 ～ 12/21	体育理論 (スポーツの歴史・文化的特性)	上記体育理論に同じ
12月	1/12 ～ 1/30	器械運動(跳び箱)	関: 器械運動の学習に自主的に取り組み、互いに助け合い教え合おうとしている。 思: 自分の技能・体力の程度に応じて、目指す技や技の組み立てを見付け、その課題に応じた練習方法を選んでいる。 技: 回転系や巧技系の技の演技するための、滑らかに安定した基本的な技ができる。 知: 器械運動の楽しみ方や学習の進め方、技の名称や行い方を知っている。
	2/2 ～ 2/23	器械運動(マット)	上記器械運動に同じ
3月	3/13～	体育理論 (スポーツの歴史・文化的特性)	上記体育理論に同じ
言語活動の充実のための学習活動		・体を動かす活動を通して、コミュニケーションや感性・情緒に関する学習活動及び知的活動を充実する。 ・各運動場面で、体を動かす機会を適切に確保した上で、相手や仲間のよい演技に賞賛を送る、互いのよい演技を認め合う、互いに教え合うなどのコミュニケーションを図る学習活動を充実する。	
評価方法		運動の技能、関心・意欲・態度や思考・判断及び知識・理解を総合して評価する。	

保健 1学年 1単位

目 標		個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。		
使用教科書		現代高等保健体育(大修館301)		
副 教 材		図説 現代高等保健体育(大修館301)		
時 期	学 習 内 容	評 価 規 準		
4月	4/10~ 4/17~	01 私たちの健康のすがた	健康水準の変化や健康の成り立ち、健康を保持増進するための意思決定と行動選択を実現する工夫や環境づくりについて理解し説明することができる。 関:健康に関する資料を探したり読んだり、また、課題解決に向けての話し合いや意見交換に意欲的に取り組もうとしている。	
	4/17~ 4/24~	02 健康のとらえ方 03 健康と意志決定・行動選択		
5月	5/1~ 5/8~	04 健康に関する環境づくり	思:健康に関する資料や工夫について課題を発見し分析・整理して説明できる。 知:様々な健康問題や考え方の変化について基礎的な事項を理解している。	
	中間考査			
6月	5/22~ 5/29~	05 生活習慣病とその予防 06 食事と健康	健康に影響をあたえる様々な要因とその対策について理解し説明することができる。 関:様々な健康影響因子に関心を持ち、健康を保持するための課題解決に意欲的に取り組もうとしている。 思:健康からみた影響因子について、資料を通じて課題を発見し分析・整理して説明できる。 知:健康の保持増進についての対策や考え方について基礎的な事項を理解している。	
	6/5~ 6/12~	07 運動と健康 08 休養・睡眠と健康		
	6/19~ 6/26~			
	7月	期末考査		
7月	7/10~ 7/18~	09 喫煙と健康		
	8月	8/25~ 8/28~		10 飲酒と健康
9月	9/4~ 9/11~	11 薬物乱用と健康		
	9/19~ 9/25~	12 現代の感染症		
10月	中間考査 10/10~ 10/16~ 10/23~	13 感染症の予防 14 性感染症・エイズとその予防	感染症について理解するとともに予防するための対策についても理解し説明することができる。 関:感染症に関する資料を探したり読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 思:感染症予防に関する資料や工夫について、課題を発見し分析・整理して説明できる。 知:感染症について理解するとともに、その予防についての対策や社会の取り組みについて理解している。	
	10/30~ 11/6~ 11/13~ 11/20~ 11/27~	15 欲求と適応機制 16 心身の相関とストレス 17 ストレスへの対処 18 心の健康と自己実現 19 交通事故の現状と要因		
	期末考査			
11月	12/7~ 12/11~ 12/18~	20 交通社会における運転者の資質と責任 21 安全な交通社会づくり	交通事故の現状とその要因について理解し、安全な交通社会づくりを説明することができる。 関:交通事故に関する資料を探したり読んだりするなど学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 思:交通事故の発生要因について、資料を通じて発見し分析・整理して説明できる。 知:交通事故防止についての対策や考え方について基礎的な事項を理解している。	
	1月	1/9~ 1/15~ 1/22~ 1/29~		22 応急手当の意義とその基本 23 心肺蘇生法
	2月	2/5~ 2/13~ 2/19~ 2/26~		24 日常的な応急手当
3月		学年末考査 3/12~ 3/19~		
言語活動の充実のための学習活動		・単元ごとの「学習の目標」に照らし合わせたテーマで、グループディスカッションや、ディベートを行う。 ・学習の成果をまとめ全体の場で発表する。 (単元の内容により実施方法は検討する)		
評価方法		・各学期1回の定期考査 ・ディスカッションや、ディベートへの取り組み姿勢 ・ノート		

芸術 音楽 I 1年 普通科・理数科 2単位

目標		音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。		
使用教科書		改訂版 高校生の音楽 1 (音楽之友社)		
副教材				
時期	学習内容	評価規準		
4月	4/10～ 4/17～ 4/24～ 5/1～	器楽 Beat Canon 歌唱 翼をください 少年時代	・リズムの楽しさを感じて表現しようとしている。①② ・意欲的・主体的に歌唱しようとしている。① ・リコーダーの基本的な奏法を修得している。③ ・お互いのパートをよく聴き合い、アンサンブルを作り出そうとしている。②	
5月	5/8～ 中間考査	器楽 愛のあいさつ シチリアーナ		
6月	5/22～ 5/29～ 6/5～ 6/12～ 6/19～ 6/26～ 期末考査	歌唱 花は咲く Climb Ev'ry Mountain 野菜の気持ち 器楽 YOU CAN DO IT! 鑑賞 オラトリオ「メサイア」HWV56	・歌詞の内容を味わい、イメージを持って歌っている。①② ・リズムの楽しさを感じて表現しようとしている。①② ・リズムの楽しさを感じて表現しようとしている。①② ・楽曲の特徴と表現の効果を感じ取って鑑賞している。①④	
	7月	7/10～ 7/18～	歌唱 Heidenröslein 夏の思い出 浜辺の歌 ふるさと	・外国語の言葉の響きに関心を持って取り組んでいる。①② ・日本の歌の美しさや特徴を感じ取り、詩を味わって歌唱している。①② ・ギターの基本的な奏法を修得している。③
	8月	8/25～ 8/28～	器楽 ギターを弾こう	
	9月	9/4～ 9/11～ 9/19～ 9/25～	鑑賞 子どもの情景 作品 15	・楽器の音色の美しさや、表現の効果を味わいながら聴いている。①④
10月	10/2～ 中間考査			
11月	10/10～ 10/16～ 10/23～ 10/30～	歌唱 喜びの歌 Caro mio ben ちいさい秋見つけた はるかな友に	・外国の言葉の響きに関心を持って取り組んでいる。①② ・表現形態の特徴に関心を持ち、それらを生かして歌おうとしている。①②③	
	11/6～ 11/13～ 11/20～ 11/27～ 期末考査	器楽 「アナと雪の女王」メドレー 日本の詩情 鑑賞 交響曲 第7番 イ単調 作品 92	・互いのパートをよく聴き合い、意見を出し合いながら、楽しくアンサンブルを作り出そうとしている。①②③ ・交響曲の響きの効果を感じ取って鑑賞している。①④	
	12月	12/6～ 12/11～ 12/18～	歌唱 クリスマス・ソング・メドレー 待ちぼうけ こきりこ	・歌の美しさや特徴を感じ取り、声の出し方を工夫しながら表現しようとしている。②③
	1月	1/9～ 1/15～ 1/22～ 1/29～	創作 自分の音楽をつくろう 鑑賞 箏曲「みだれ」 尺八曲「鹿の遠音」 長唄「勸進帳」	・音楽の成り立ちに関心を持ち、旋律をつくることの楽しさを感じながら、意欲的に取り組もうとしている。①③ ・器楽や音の特色やそれぞれの技法を感じ取って鑑賞している。①④
2月	2/5～ 2/13～ 2/19～ 2/26～			
3月	学年末考査 3/12～ 3/19～	歌唱 春に	・歌の美しさや特徴を感じ取り、声の出し方を工夫しながら表現しようとしている。②③	
言語活動の充実のための学習活動		・音によるコミュニケーションの充実を図るため、音楽に対するイメージ、思い、意図などを相互に伝え合い、仲間とともに創意工夫して音楽を表現する喜びを味わうようにする。 ・鑑賞の能力を育むために、音楽的な特徴を理由として挙げながら音楽の良さや美しさなどについて述べる活動をして、主体的、創造的に味わって聴くことができるようにする。		
評価方法		①音楽への関心・意欲・態度 ②音楽表現の創意工夫 ③音楽表現の技能 ④鑑賞の能力 表現(歌唱、器楽、創作)は①、②、③、鑑賞は①、④を評価		

芸術 美術 I 1年 普通科・理数科 2単位

目標		現代を生きるひとりとして、よりよいものを目指す姿勢と、豊かな想像力・コミュニケーション能力を身につける。	
使用教科書		高校美術1（日本文教出版）	
副教材			
時期		学習内容	評価規準
4月	4/10～ 4/17～ 4/24～	オリエンテーション デザイン史演習	<ul style="list-style-type: none"> デザインと人間相互の関わりを意識して鑑賞している。 他者への伝達とコミュニケーションを意識して構想を練っている。 材料・用具を生かして表現する技術を身につけている。 創造的に表現を工夫している。
5月	5/1～ 5/8～ 中間考査	デザイン表現	
	5/22～ 5/29～	絵画表現(期末考査まで)	<ul style="list-style-type: none"> 平面表現の課題を意識して表現に生かそうとしている。 表現の主題や形式に関心をもって構想を練っている。 材料・用具を生かして表現する技術を身につけている。
6月	6/5～ 6/12～ 6/19～ 6/26～		
7月	期末考査		
	7/10～ 7/18～	デザイン史演習(講義) 絵画作品鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 芸術と日常(個人・社会)との関わりについて関心をもって鑑賞している。 複数の作品の違いを発見し、それぞれのよさや美しさを感じとろうとしている。
8月	8/25～ 8/28～	彫刻・工芸史演習(講義) 立体表現	
9月	9/4～ 9/11～ 9/19～ 9/25～ 10/2～		
10月	中間考査		
	10/10～ 10/16～ 10/23～ 10/30～	立体作品展示、鑑賞 絵画史演習(講義)	<ul style="list-style-type: none"> 彫刻・工芸と人間の五感との関わりを意識して鑑賞している。 立体表現と平面表現の違いを意識して創造的に表現を工夫している。 素材を生かす構成力を身につけている。 基礎的な工具を安全に扱う技術を身につけている。
11月	11/6～ 11/13～ 11/20～ 11/27～		
12月	期末考査		
	12/6～ 12/11～ 12/18～	絵画表現	<ul style="list-style-type: none"> 絵画と近代的思考との関わりについて関心をもって鑑賞している。 自己の課題を意識して創造的に表現を工夫している。 表現の主題や形式に関心をもって構想を練っている。 材料・用具を生かして表現する技術を身につけている。
1月	1/9～ 1/15～ 1/22～ 1/29～		
2月	2/5～ 2/13～ 2/19～ 2/26～		
3月	学年末考査 3/12～ 3/19～		
言語活動の充実のための学習活動		美術作品やお互いの作品について意見を述べることで、感じ方の相違などを理解し、見方や感じ方を広げる。他者への伝達コミュニケーションを意識して構想を練ることで、作品の理解を深める。	
評価方法		<input type="radio"/> 作品およびレポートの採点 <input type="radio"/> 授業態度の観察	

芸術 書道 I 1年 普通科・理数科 2単位

目標		古典の学習を通して書の歴史・美しさを味わう。	
使用教科書 副教材		新編 書道 I (教育出版)	
時期		学習内容	評価規準
4月	4/10～ 4/17～ 4/24～	○硬筆(ペン字) 用筆法 姿勢&鉛筆・ペンの持ち方 線の動きについて学ぶ 作品作り	①関心・意欲・態度 ・書の伝統と文化に関心を持ち、主体的に創造的活動に取り組んでいる。
5月	5/1～ 5/8～ 中間考査		
6月	5/22～ 5/29～ 6/5～ 6/12～ 6/19～ 6/26～	○楷書の学習 唐の四大家の臨書 漢字の歴史を学ぶ	②発想や構想の能力 形式と表し方を判断し、表現することができる。 ・字形の構成を理解し、全体の構成が工夫できる。 ・目的や用途に応じて効果的に表現するための用具・用材を選択できる。
7月	期末考査 7/10～ 7/18～		
8月	8/25～ 8/28～	○行書の学習 王羲之の蘭亭序	③創造的な技能 ・用具・用材によって線質や表現が変わることを理解している。 ・漢字の基本的な線質の表し方を理解している。 ・伝統に根ざした技法を習得し、普遍性のある表現力を身につけている。 ・必要な用具・用材の種類、使い方・扱い方、手入れの方法について理解している。 ・書の効果的な表現の技能を身につけている。 ・漢字と仮名の調和した線質の表し方を習得している。 ・漢字と仮名の字形や文字の大きさが調和するように配慮できる。
9月	9/4～ 9/11～ 9/19～ 9/25～		
10月	10/2～ 中間考査 10/10～ 10/16～ 10/23～ 10/30～	○仮名の学習 仮名の歴史 平仮名を書く おもに古典の臨書 漢字仮名まじりの作品	④鑑賞の能力 ・書の効用や表現を幅広く理解し、そのよさや美しさを味わう。
11月	11/6～ 11/13～ 11/20～ 11/27～		
12月	期末考査 12/7～ 12/11～ 12/18～		
1月	1/9～ 1/15～ 1/22～ 1/29～		
2月	2/5～ 2/13～ 2/19～ 2/26～		
3月	学年末考査 3/12～ 3/19～		
言語活動の充実のための学習活動		作品の制作過程において、書くべき言葉にふさわしい表現について説明ができるようにする。 完成した作品について、古典など基礎を学んだことによる見方や感じ方を広げ表現の深化をはかる。	
評価方法		毎時間、作品と自己評価を提出させ、共にファイルしていく。 小・中学校で習わなかった基礎の用語や解法を学び古典をとおして自分が創作する時の表現方法を身につけているかを評価する。	

目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。 Reading:身近な話題に関する英文を100WPM程度で読むことができる。(WPM=語/分) Listening:簡単で短い説明や指示を理解することができる。 Writing:既習の文法・語彙・語法を用い50語程度の説明文を15分以内で書くことができる。 Speaking:日常的なやりとりができる。また社会的な事柄について準備をして発表ができる。		
使用教科書	Revised ELEMENT English Communication I (啓林館)		
副教材	Revised ELEMENT English Communication I 予習ノート		
時期	学習内容	評価規準	
4月	4/10～ 4/17～ 4/24～ 5/1～	ガイダンス「英語の授業について」 Lesson 1 Rakugo in English! Part 1-2 Lesson 1 Rakugo in English! Part 3-4 英語が使えれば何ができるかを考える	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。
5月	5/8～ 中間考査	Lesson 2 Christian the Lion Part 1-2	
6月	5/22～ 5/29～ 6/5～ 6/12～	Lesson 2 Christian the Lion Part 3-4 クリスチャンと旧友たちとの再会の場面をとらえる。 Lesson 3 Predictions of the Future Part 1-2 クラークが未来を予言した内容について理解する。	②外国語表現の能力 情報や考えなどについて、英語で話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 情報や考えなどについて、英語で簡潔に書くことができる。
	6/19～ 6/26～ 期末考査	Lesson 3 Predictions of the Future Part 3-4 50年後の世界がどうなっているか、自分の考えを述べる。	
7月	7/10～ 7/18～ 8/25～	Lesson 4 Twice Bombed, Twice Survived Part 1-2 山口さんが二度目の被爆をした経緯を理解する。 Lesson 4 Twice Bombed, Twice Survived Part 3-4	④言語や文化についての知識・理解 英語のしくみ、使われている言葉の意味や働き等を理解するとともに、言語の背景にある文化を理解している。
8月	8/28～ 9/4～	自分の人生に影響を与えた人物・本・映画について書く。 Lesson 5 Umami Part 1-2	
9月	9/11～ 9/19～ 9/25～ 中間考査	うま味の研究について理解する。 Lesson 5 Umami Part 3-4 アメリカの友人に和食について説明する手紙を書く。	
10月	10/10～ 10/16～ 10/23～ 10/30～	Lesson 6 The Story of PlayPumps Part 1-2 プレイポンプの計画について理解する。 Lesson 6 The Story of PlayPumps Part 3-4 水不足を解決するための計画について調べ、発表する。	
11月	11/6～ 11/13～ 11/20～ 11/27～ 期末考査	Lesson 7 Biomimetics Part 1-2 バイオミメティクスはどのような学問かを理解する。 Lesson 7 Biomimetics Part 3-4 自然を守るために何をすべきかについて考えを述べる。	
12月	12/7～ 12/11～ 12/18～	Lesson 8 The Power of Presentation Part 1-2 3人のプレゼンテーションの内容について理解する。 Lesson 8 The Power of Presentation Part 3-4	
1月	1/9～ 1/15～ 1/22～ 1/29～	自分の学校について中学生に説明する。 Lesson 9 Bopsy Part 1-2 ボブシーの夢はどのようなものかを理解する。 Lesson 9 Bopsy Part 3-4	
2月	2/5～ 2/13～ 2/19～ 2/26～ 学年末考査	ボブシーの死の間際に起こったことを理解する。 身近な人に感謝の手紙を書く Lesson 10 Playing the Enemy Part 1-2 Lesson 10 Playing the Enemy Part 3-4 ラグビー・ワールドカップによって南アフリカの人々の気持ちがどのように変化したかを理解する。	
3月	3/12～ 3/19～	マンデラについて調べ、彼の偉業について感じたことを書く。	
言語活動の充実のための学習活動	ア 事物に関する紹介や対話を聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をする。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。		
評価方法	a. 授業に対する意欲 b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査		

外国語 英語表現Ⅰ 第1学年 普通科・理数科 2単位

目 標		英語での積極的なコミュニケーション態度の育成と、情報や考えなどの基礎的理解力、表現力の養成を図る。 Reading:身近な話題に関する英文を 100WPM 程度で読むことができる。(WPM=語/分) Listening:簡単で短い説明や指示を理解することができる。 Writing:既習の文法・語彙・語法を用い 50 語程度の説明文を 15 分以内で書くことができる。 Speaking:日常的なやりとりができる。また社会的な事柄について準備をして発表ができる。	
使用教科書		DUALSCOPE English Expression I	
副 教 材		デュアルスコープ総合英語・スコープワーク27・英語の正しい発音の仕方(基礎編)	
時 期		学 習 内 容 評 価 規 準	
4月	4/17~	Lesson 1 英語の型で表現する	① 関心・意欲・態度 [趣旨] コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 [規準] (ア) 言語活動への積極的な取り組み (イ) コミュニケーションを継続する努力
	4/24~	英語の文型を理解し、自己紹介に関する語彙・表現を習得する	
5月	5/1~	Lesson 2 さまざまな「時」を表現する Part1~2	②表現の能力 [趣旨] 日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現する。 [規準] (ア) 学んだ文法事項や語彙を理解しながら、正確に表現できる (イ) 与えられたテーマについて有意義な情報を盛り込める
	5/8~	英語の時制を理解し、計画・予定の表現を習得する	
5月 中間考査		発音 1~14	③理解の能力 [趣旨] 日常的话题について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようすることを理解する。 [規準] (ア) 正確さ(リズム・イントネーション・文法などの知識を利用した理解) (イ) 適切さ(場面や状況、目的に応じた聞き取り、読み取り)
6月	5/22~	Lesson 2 さまざまな「時」を表現する Part3~4	
	5/29~	英語の時制を理解・活用でき、旅行に関する語彙・表現を習得する	
6月	6/5~	Lesson 3 助動詞を使って表現する	④知識・理解 [趣旨] 日常的话题についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 [規準] (ア) 言語についての知識(リズム・イントネーション・文法。言語の働き。場面にふさわしい表現) (イ) 文化についての理解 (ロ) 円滑なコミュニケーションに必要とされる文化についての理解
	6/12~	助動詞を理解し、依頼・勧誘・許可・禁止する表現を理解し、学校生活に関する語彙・表現を習得する	
7月	6/19~	発音 15~48	④知識・理解 [趣旨] 日常的话题についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 [規準] (ア) 言語についての知識(リズム・イントネーション・文法。言語の働き。場面にふさわしい表現) (イ) 文化についての理解 (ロ) 円滑なコミュニケーションに必要とされる文化についての理解
	6/26~	発音 15~48	
7月 期末考査			④知識・理解 [趣旨] 日常的话题についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 [規準] (ア) 言語についての知識(リズム・イントネーション・文法。言語の働き。場面にふさわしい表現) (イ) 文化についての理解 (ロ) 円滑なコミュニケーションに必要とされる文化についての理解
9月	7/10~	Lesson 4 受動態を使って表現する	
	7/18~	受動態を理解し、職業に関する語彙・表現を習得する	
9月	8/28~		④知識・理解 [趣旨] 日常的话题についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 [規準] (ア) 言語についての知識(リズム・イントネーション・文法。言語の働き。場面にふさわしい表現) (イ) 文化についての理解 (ロ) 円滑なコミュニケーションに必要とされる文化についての理解
	9/4~	Lesson 5 不定詞を使って表現する	
10月	9/11~	不定詞を理解し、夢・目標に関する語彙・表現を習得する	④知識・理解 [趣旨] 日常的话题についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 [規準] (ア) 言語についての知識(リズム・イントネーション・文法。言語の働き。場面にふさわしい表現) (イ) 文化についての理解 (ロ) 円滑なコミュニケーションに必要とされる文化についての理解
	9/19~	発音 1~48	
10月 中間考査			④知識・理解 [趣旨] 日常的话题についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 [規準] (ア) 言語についての知識(リズム・イントネーション・文法。言語の働き。場面にふさわしい表現) (イ) 文化についての理解 (ロ) 円滑なコミュニケーションに必要とされる文化についての理解
11月	10/10~	Lesson 6 動名詞を使って表現する	
	10/16~	動名詞を理解し、謝る・感謝する、または交流に関する語彙・表現を習得する	
12月	10/23~	Lesson 7 分詞を使って表現する	④知識・理解 [趣旨] 日常的话题についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 [規準] (ア) 言語についての知識(リズム・イントネーション・文法。言語の働き。場面にふさわしい表現) (イ) 文化についての理解 (ロ) 円滑なコミュニケーションに必要とされる文化についての理解
	10/30~	分詞を理解し、科学技術に関する語彙・表現を習得する	
12月	11/6~	Lesson 8 比較を使って表現する(Part1)	④知識・理解 [趣旨] 日常的话题についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 [規準] (ア) 言語についての知識(リズム・イントネーション・文法。言語の働き。場面にふさわしい表現) (イ) 文化についての理解 (ロ) 円滑なコミュニケーションに必要とされる文化についての理解
	11/13~	比較構文を理解し、服装・買い物に関する語彙・表現を習得する	
1月	11/20~	Lesson 9 関係詞を使って表現する	④知識・理解 [趣旨] 日常的话题についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 [規準] (ア) 言語についての知識(リズム・イントネーション・文法。言語の働き。場面にふさわしい表現) (イ) 文化についての理解 (ロ) 円滑なコミュニケーションに必要とされる文化についての理解
	11/27~	関係詞を理解し、説明する表現や風習・習慣に関する語彙・表現を習得する	
2月	12/11~	Lesson 10 仮定法を使って表現する	④知識・理解 [趣旨] 日常的话题についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 [規準] (ア) 言語についての知識(リズム・イントネーション・文法。言語の働き。場面にふさわしい表現) (イ) 文化についての理解 (ロ) 円滑なコミュニケーションに必要とされる文化についての理解
	12/18~	仮定法を理解し、歴史に関する語彙・表現を習得する	
3月	1/9~	Lesson 9 関係詞を使って表現する	④知識・理解 [趣旨] 日常的话题についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 [規準] (ア) 言語についての知識(リズム・イントネーション・文法。言語の働き。場面にふさわしい表現) (イ) 文化についての理解 (ロ) 円滑なコミュニケーションに必要とされる文化についての理解
	1/15~	関係詞を理解し、説明する表現や風習・習慣に関する語彙・表現を習得する	
3月	1/22~		④知識・理解 [趣旨] 日常的话题についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 [規準] (ア) 言語についての知識(リズム・イントネーション・文法。言語の働き。場面にふさわしい表現) (イ) 文化についての理解 (ロ) 円滑なコミュニケーションに必要とされる文化についての理解
	1/29~	Lesson 10 仮定法を使って表現する	
3月 学年末考査			④知識・理解 [趣旨] 日常的话题についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 [規準] (ア) 言語についての知識(リズム・イントネーション・文法。言語の働き。場面にふさわしい表現) (イ) 文化についての理解 (ロ) 円滑なコミュニケーションに必要とされる文化についての理解
3月	2/5~	Lesson 10 仮定法を使って表現する	
	2/13~	仮定法を理解し、歴史に関する語彙・表現を習得する	④知識・理解 [趣旨] 日常的话题についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 [規準] (ア) 言語についての知識(リズム・イントネーション・文法。言語の働き。場面にふさわしい表現) (イ) 文化についての理解 (ロ) 円滑なコミュニケーションに必要とされる文化についての理解
2/19~	仮定法を理解し、歴史に関する語彙・表現を習得する		
3月 3/12~			④知識・理解 [趣旨] 日常的话题についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 [規準] (ア) 言語についての知識(リズム・イントネーション・文法。言語の働き。場面にふさわしい表現) (イ) 文化についての理解 (ロ) 円滑なコミュニケーションに必要とされる文化についての理解
3月 3/19~			
言語活動の充実のための学習活動		英語の仕組みについての理解を深め、英語らしく話せるように発音指導を継続して行う。 スピーチやディスカッションなどを取り入れ自己表現活動を充実させる。 海外の生徒と交流する機会を設け、外国の文化や言語に対する興味を養う。	
評価方法		定期考査成績・グループ活動の参加態度、提出物、表現活動への参加姿勢等から総合的に評価する。	

外国語 実践コミュニケーション(Practical Communication) I 1年普通科英語コース (1単位)

目 標		スピーチ、ディスカッション、ディベートを通じて、英語で自分の意見を書いたり、話したりできる。また、資料を読んだり、相手の話す内容を聞いたりして、内容を理解し、相槌を打ったり、質問したりするなどのコミュニケーションを図ることができる。	
使用図書		DISCOVER DEBATE	
副 教 材		自主製作教材	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
4月	4/10～ 4/17～ 4/24～ 5/1～ 5/8～	レシテーションに向けて練習しよう	① 関心・意欲・態度 [趣旨] コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 [規準] (ア) 言語活動への積極的な取り組み (イ) コミュニケーションを継続する努力
5月	5/22～ 5/29～ 6/5～ 6/12～ 6/19～ 6/26～	ディスカッションのスキルを学ぼう ディスカッションの定型表現を覚えよう ディスカッションをしてみよう(1) ディスカッションをしてみよう(2) ディスカッションをしてみよう(3) ディスカッションをしてみよう(4)	
6月	6/26～ 7/10～ 7/18～	ディスカッションをしてみよう(5) ディスカッションをしてみよう(6)	② 表現の能力 [趣旨] 取り上げた話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現する。 [規準] (ア) 学んだ文法事項や語彙を理解しながら、正確に表現できる (イ) 与えられたテーマについて有意義な情報を盛り込める
7月	8/25～ 8/28～	ディスカッションをしてみよう(7) ディスカッションをしてみよう(8)	
8月	9/4～ 9/11～	ミニスピーチ ディベートとは何か？ Parliamentary と Academic	③ 理解の能力 [趣旨] 日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解する。 [規準] (ア) 正確さ(リズム・イントネーション・文法などの知識を利用した理解) (イ) 適切さ(場面や状況、目的に応じた聞き取り、読み取り)
9月	9/19～ 9/25～	ディベートの表現を学ぼう ディベートの形を学ぼう(1) Parliamentary Debate	
10月	10/10～ 10/16～ 10/23～ 10/30～ 11/6～ 11/13～ 11/20～ 11/27～	ディベートの立論を立ててみよう ディベートの反駁を考えよう Parliamentary Debate (1) Parliamentary Debate (2) Parliamentary Debate (3) ディベートの形を学ぼう(2) Academic Debate ディベートをしてみよう(1) ディベートをしてみよう(2)	④ 知識・理解 [趣旨] 日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。 [規準] (ア) 言語についての知識(リズム・イントネーション・文法。言語の働き。場面にふさわしい表現) (イ) 文化についての理解(円滑なコミュニケーションに必要とされる文化についての理解)
11月	12/7～ 12/11～ 12/18～ 1/9～ 1/15～ 1/22～ 1/29～ 2/5～ 2/13～ 2/19～ 2/26～	ディベートをしてみよう(3) ディベートをしてみよう(4) ディベートをしてみよう(5) ディベートをしてみよう(6) ディベートをしてみよう(7) ディベートをしてみよう(8) ディベートをしてみよう(9) ディベートをしてみよう(10) ディベートをしてみよう(11) トーナメント準備	
12月	3/12～ 3/19～		
言語活動の充実のための学習活動		基本的な受け答えを含めたコミュニケーション活動を含め、ディスカッションやディベートを行う。 1学期にディスカッションで話し合った内容をもとに、スピーチを書く。	
評価方法		定期考査(中間、期末)、英作文課題、スピーキングテスト	

家庭科 家庭基礎 第一学年 普通科・理数科 2単位

目 標	・人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。 ・学習した知識や技術を活用し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を育成する。 ・家族や社会との共生を目指し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる		
使用教科書	「311 家庭基礎 自立・共生・創造」(東京書籍)		
副 教 材	「生活学Navi 資料+成分表2017」(実教出版)		
時 期	学 習 内 容	評 価 規 準	
4月	4/10～ 4/17～ 4/24～ 5/1～	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について 第1章自分らしい人生をつくる 青年期の課題、人生をつくる、家族・家庭を見つめる、これからの家庭生活と社会	○学習の意義や内容、情報収集、プリントやレポートの書き方や学習の方法、評価の方法を理解できたか [関・意・態] ○家族の意義や、様々な家族が存在することや、家族に関する法律を理解している [知・理]
5月	5/8～ 中間考査	第3章高齢社会を生きる 高齢期を理解する、高齢者の心身の特徴、これからの高齢社会 [実習] 高齢者疑似体験・食事介助体験	○男女共同参画社会実現のために必要な社会的条件について考えられる [思・判・表] ○高齢社会・高齢者の心身の特徴や生活に関心を持ち、思いやりを持って積極的に関わろうとする。また、介助体験を通して高齢者の生活を支える仕組みについて考えようとしている [関・意・態] [技]
6月	5/22～ 5/29～ 6/5～ 6/12～ 6/19～ 6/26～ 期末考査	[実習] 箸置き(折り紙)製作 [調理実習] 高齢者向け食事 第4章共に生き、共に支える 私たちの生活と福祉、社会保障の考え方、共に生きる 第2章子どもと共に育つ 子どもの育つ力を知る、親として共に育つ	○高齢者福祉の現状を知り、その問題点や解決策を考えている。 [思・判・表] ○ノーマライゼーションやバリアフリーの理念について理解している [知・理] ○高齢者と場面に応じたコミュニケーションをとることができる [技] ○子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を理解している ○子どもにとって望ましい保育環境について理解している [知・理]
7月	7/10～	これからの保育環境	○子どもの自立のために、生活習慣の形成が重要であり、おとながどのように関わればよいか考えている [思・判・表]
8月	7/18～ 8/25～	[実習] 妊婦疑似体験 [調理実習] 子どものおやつ作り	子育て支援のシステムや児童福祉・子どもの権利・児童虐待問題について考えようとしている [関・意・態]
9月	8/28～ 9/4～ 9/11～ 9/19～	第8章経済生活を営む これからの消費生活と環境 [実習] おむつの吸水実験 職業生活を設計する、計画的に使う、現代の消費社会	○環境負荷の少ない生活、環境に調和した生活について考えを深めている [思・判・表] ○グリーンコンシューマーをめざして、環境負荷の少ない生活を工夫することができる [技] ○多様化する現代の消費生活や、契約等消費者問題に関心を持ち、どのように行動するかを考えようとする [関・意・態] ○消費者として主体的に行動でき消費者情報を集め活用することができる [技] ○消費者の権利、消費者としての責任ある行動について理解している [知・理]
10月	9/25～ 中間考査	消費者の権利と責任 [実習] マネープランゲーム	○子どもの自らのために、生活習慣の形成が重要であり、おとながどのように関わればよいか考えている [思・判・表]
11月	10/10～ 10/16～ 10/23～ 10/30～ 11/6～ 11/13～ 11/20～ 11/27～ 期末考査	第7章住生活をつくる 住生活について考える、住生活の計画と選択、これからの住生活 第6章衣生活をつくる 被服を入手する、被服を管理する [実習] ブックカバー製作	○住居の機能について関心をもち、ライフスタイルやライフステージに応じた住居の計画や選択について考えようとしている [関・意・態] ○健康で快適な住環境の工夫について考えられる [思・判・表] ○自然災害など住まいの適切な維持対策について理解している [知・理] ○衣服の機能、被服材料の種類と性質について理解している [知・理] ○品質表示や取り扱い表示を読みとり、適切な被服管理、各自のライフスタイルに応じた被服計画を立てることができる [技]
12月	12/7～ 12/11～ 12/18～	第5章食生活をつくる 食生活の課題について考える [調理実習] 和食	○自分の食生活の問題点に気づき、自分や家族の食生活の改善に意欲的に取り組むことができる [関・意・態] ○調理の安全や衛生を理解し調理できる [知・理・技]
1月	1/9～ 1/15～ 1/22～	食事と栄養・食品、生涯の健康を見通した食事計画 食生活の安全と衛生	○バランスの良い食事を基本とし、栄養素の種類とはたらき、食事摂取基準、食品群別摂取量のめやすなどをもとに、自分や家族の食生活を見直す方法を考えている [思・判・表]
2月	1/29～ 2/5～ 2/13～ 2/19～ 2/26～ 学年末考査	[調理実習] 中華・洋食	○健康や安全に配慮した食生活について考え、よりよい食生活を実践しようとしている [関・意・態] ○自分の食生活を見直し、健康的な生活のあり方について考えをまとめ、献立をたてることのできる [思・判・表] [技]
3月	3/12～ 3/19～	第9章生活を設計する 生涯を見通す [実習] カルタ制作	○人の一生、生活全般について見直し、生活課題を見つけ、その解決を目指して思考を深めている [思・判・表] ○学んだ技術や知識をいかして、自分自身の生活能力を高めようとしている [思・判・表]
言語活動の充実のための学習活動	人の一生、生活全般に関する基礎的・基本的な知識を身につけた上で、テーマごとに調理実習や実験を班ごとに活動させていく中で、言語活動を行う能力を培う。また、衣食住の各テーマの実習を通して、主体的に自己実現のための問題解決をする能力を培う。		
評価方法	テーマごとに指導目標に応じて学習活動を計画し、観点ごとの具体的評価基準を設定する。 [関心・意欲・態度][思考・判断・表現][技能][知識・理解]の4観点のバランスを考慮して評価する。 定期考査・実験実習態度・授業態度・レポートやプリントの提出・作品提出など総合的に判断し、評価する。		

情報・社会と情報 1年 1単位

目標		情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。	
使用教科書		「社会と情報」(開隆堂)	
副教材		「社会と情報 サブノート」(開隆堂), 「基本操作マスター」(開隆堂)	
時期		学習内容	評価規準
4月	4/10～	導入 情報社会とわたしたち ① 情報とわたしたちの生活	① 情報と生活とのかかわりについて関心を持ち、情報モラルの必要性について考える。＜関心・意欲・態度＞授業態度
	4/12～		
5月	4/17～	② 情報	② 情報の収集・発信に伴う情報の信ぴょう性と信頼性について考え、情報を収集・発信する際に、それらを踏まえた適切な判断ができる。＜思考・判断・表現＞ペーパーテスト, 実習
	4/24～		
5月	5/1～	③ メディア	③ 情報化の影の部分への対応や、情報の正しさとそれを確認する方法について考えることができる。＜技能＞授業の記録(サブノート), 実習
	5/8～		
中間考査		ユニット1 情報モラル	④ 情報化の影響と課題や、情報の正しさとそれを確認する方法について理解している。＜知識・理解＞ペーパーテスト
6月	5/22～	① 社会にあふれる情報	
	5/29～	② 情報化の影響と課題	
6月	6/5～	③ 情報の信ぴょう性と信頼性	④ 情報化の影響と課題や、情報の正しさとそれを確認する方法について理解している。＜知識・理解＞ペーパーテスト
	6/12～	④ 情報の信ぴょう性と信頼性の評価	
期末考査		ユニット6 情報セキュリティ	① 情報の公開・保護と個人の責任や関係法令等について関心を持ち、情報社会に参画する態度を身につけようとしている。＜関心・意欲・態度＞授業態度, 授業の記録(サブノート)
7月	7/10～	① セキュリティの確保	
8月	7/18～	② 事故や災害、犯罪への対応	② 身近な情報資産について安全性を確保する方法を、セキュリティの考え方を元に考えることができる。＜思考・判断・表現＞授業の記録(サブノート)
	8/25～	③ ネットワークのセキュリティ対策	
9月	8/28～	ユニット7 情報社会における法 ① 知的財産権	③ 情報に関連する法を遵守し個人の責任を踏まえた上で、適切に情報を活用することができる。＜技能＞実習
	9/4～		
10月	9/11～	② 著作物の適切な利用	④ 情報化が社会に及ぼす影響と課題、情報の公開・保護と個人の責任や関係法令等について理解している。＜知識・理解＞ペーパーテスト
	9/19～	③ プライバシーと法	
10月	9/25～	④ 情報社会を支えるさまざまな法	① 情報機器を活用して多様な形態の情報を統合しようとするとともに、伝えたい内容を分かりやすく表現し、効率的に伝達しようとしている。＜関心・意欲・態度＞授業態度, 授業の記録(サブノート)
	中間考査	ユニット3 デジタル化	
11月	10/10～	① デジタル情報	② デジタル化された情報や情報機器の種類と特性を踏まえて、目的に応じた方法を判断し、情報を適切に表現・伝達するよう考えている。＜思考・判断・表現＞授業の記録(サブノート)
	10/16～	② 情報の量の基本単位	
11月	10/23～	③ 数値や文字の表現方法	③ 情報機器を活用して多様な形態の情報をデジタル化するとともに、それらの情報を統合して分かりやすく表現し、効率的な情報伝達をすることができる。＜技能＞実習
	10/30～	④ 音のデジタル化の方法	
11月	11/6～	⑤ 画像のデジタル化の方法	④ 情報の効果的な伝達方法や、情報を統合し表現する方法、適切な情報の伝達について理解している。＜知識・理解＞ペーパーテスト
	11/13～	⑥ 動画の表現方法	
12月	11/20～	⑦ 大容量のデータを扱うときの技術	④ 情報の効果的な伝達方法や、情報を統合し表現する方法、適切な情報の伝達について理解している。＜知識・理解＞ペーパーテスト
	11/27～	⑧ デジタル化された情報の特徴	
期末考査		ユニット4 情報の表現と伝達	④ 情報の効果的な伝達方法や、情報を統合し表現する方法、適切な情報の伝達について理解している。＜知識・理解＞ペーパーテスト
1月	12/11～	① 情報の伝達	
	12/18～	② 情報の収集と加工・統合	
2月	1/9～	③ 情報の表現の工夫	④ 情報の効果的な伝達方法や、情報を統合し表現する方法、適切な情報の伝達について理解している。＜知識・理解＞ペーパーテスト
	1/15～	④ 表現した情報の評価と改善	
2月	1/22～	⑤ 適切な情報の伝達	④ 情報の効果的な伝達方法や、情報を統合し表現する方法、適切な情報の伝達について理解している。＜知識・理解＞ペーパーテスト
	1/29～		
3月	2/5～		④ 情報の効果的な伝達方法や、情報を統合し表現する方法、適切な情報の伝達について理解している。＜知識・理解＞ペーパーテスト
	2/13～		
学年末考査			④ 情報の効果的な伝達方法や、情報を統合し表現する方法、適切な情報の伝達について理解している。＜知識・理解＞ペーパーテスト
3月	3/12～		
3月	3/19～		
言語活動の充実のための学習活動		情報手段などを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的なコミュニケーションを行うために必要な基礎的な知識・技能を習得させるために、情報手段等の目的に応じた適切な選択、情報の信憑性や著作権への配慮の必要性・重要性、望ましい情報社会の在り方と情報技術の適切な活用等について、生徒が主体的に考え、討議し、発表し合う等の学習活動を充実する。	
評価方法		ペーパーテスト(定期考査)・実習態度・授業の記録(サブノート)・課題作品・レポート提出等を総合的に判断し評価する。	

数学・理数数学I(数学I分野) 1年 理数科 5単位

目 標		数と式, 図形と計量, 2次関数及びデータの分析について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。	
使用教科書		数学I【啓林館】(61啓林館/数I325)	
副教材		エスコート 数学I+A【啓林館】	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
4月	4/10~	第1章 数と式 第1節 整式	◎整式の基本的な性質を理解し, 加法・減法の計算ができる。[技能] ◎数の体系を実数まで拡張する意義に気付くとともに, 数を拡張していく過程に関心をもち, 調べようとする。[関・意・態]
	4/17~		
5月	4/24~	第2節 実数 第3節 方程式と不等式 [課題学習]	◎数を拡張してきた過程を考察することができる。[見・考] ◎不等式の性質を理解している。[知・理] ◎2次関数のグラフの平行移動を理解し, その移動について考察できる。[見・考]
	5/1~		
	5/8~		
中間考査		第2章 2次関数 第1節 関数とグラフ	
6月	5/22~	第2節 2次関数の最大・最小 第3節 2次関数と方程式・不等式 [課題学習]	◎2次関数を変形することにより, 位置を調べることができる。[技能] ◎グラフが満たす条件から2次関数の式を求める方法を理解している。[知・理] ◎2次関数のグラフを用いて最大値・最小値を求めることができる。[技能]
	5/29~		
	6/5~		
7月	6/12~	第3章 図形と計量 第1節 鋭角の三角比 第2節 三角比の拡張	◎鈍角まで拡張した三角比の意義を理解している。[知・理]
	6/19~		
	6/26~		
期末考査		第3節 正弦定理と余弦定理 第4節 図形の計量 [課題学習]	
8月	7/10~	第5章 データの分析 第1節 データの整理と分析 第2節 データの相関 [課題学習]	◎三平方の定理を用いて三角比の相互関係を導く過程を考察することができる。[見・考] ◎三角比や正弦定理・余弦定理などを用いて平面図形や空間図形を計量することができる。
	7/18~		
9月	8/25~	◎箱ひげ図を用いてデータの散らばりを表すことができる。[技能] ◎用語の意味を理解し, 求めることができる。[知・理] ◎散布図と相関係数から2つの変量の相関関係を考察することができる。[見・考]	
	8/28~		
	9/4~		
10月	9/11~	[課題学習]	
	9/19~		
	9/25~		
中間考査			
11月	10/10~		
	10/16~		
	10/23~		
	10/30~		
	11/6~		
12月	11/13~		
	11/20~		
	11/27~		
期末考査			
1月	12/7~		
	12/11~		
	12/18~		
	1/9~		
	1/15~		
2月	1/22~		
	1/29~		
	2/5~		
	2/13~		
3月	2/19~		
	2/26~		
	3/5~		
学年末考査			
3/12~			
3/19~			
言語活動の充実のための学習活動		◎日々の授業の中で行う。式の羅列ではなく, 筋道と根拠がわかる答案を作ることを目標にする。 ◎答えを導く過程を, 説明できるようなプレゼンテーション能力を高める。 ◎単元ごとの小テストや, 定期考査ごとの課題(ノート)等を参考にして評価する。	
評価方法		◎各定期考査による成績。 ◎単元ごとの小テストや, 定期考査ごとの課題(ノート)等を参考にして評価する。	

数学・理数数学Ⅰ(数学Ⅱ分野) 1年 理数科 5単位

目 標		数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数学的に考察し処理する能力を高め、数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。	
使用教科書		数学Ⅱ【啓林館】(61啓林館/数Ⅱ308)	
副 教 材		エスコート 数学Ⅱ+B【啓林館】	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
4月	4/10～ 4/17～ 4/24～		
5月	5/1～ 5/8～ 中間考査		
6月	5/22～ 5/29～ 6/5～ 6/12～ 6/19～ 6/26～		
7月	期末考査		
8月	7/10～ 7/18～ 8/25～		
9月	8/28～ 9/4～ 9/11～ 9/19～		
10月	9/25～ 中間考査		
11月	10/10～ 10/16～ 10/23～ 10/30～ 11/6～ 11/13～ 11/20～	第1章 いろいろな式 第1節 整式の乗法・除法と分数式 第2節 式と証明 第3節 高次方程式	◎整式や分数式を目的をもって変形し、処理することができる。[技能] ◎等式や不等式の証明を通して、式を論理的にみることができる。[見・考] ◎数を複素数まで拡張することにより、2次方程式が常に解をもつようになることに興味・関心をもつ。[関・意・態]
12月	11/27～ 期末考査		
1月	12/7～ 12/11～ 12/18～ 1/9～ 1/15～ 1/22～	第4章 指数関数と対数関数 第1節 指数と指数関数 第2節 対数と対数関数	◎2次方程式や高次方程式の解の意味を理解し、解の求め方についての基礎的な知識を身につけている。[知・理] ◎指数の拡張について関心を示し、具体的な事象に活用することができる。[関・意・態] ◎指数関数を含む方程式・不等式を解くことができる。[技能] ◎対数の意味とその必要性を理解している。[知・理]
2月	1/29～ 2/5～ 2/13～ 2/19～ 2/26～	第2章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円と直線	◎座標を用いることの有用性を認識し、活用しようとする。[関・意・態] ◎座標や式を利用して、平面図形の性質や関係を調べる方法を理解している。[知・理]
3月	学年末考査 3/12～ 3/19～	第3節 軌跡と領域	◎領域における最大・最小を考察するなど、領域を線形計画法に活用する過程を考察することができる。[見・考]
言語活動の充実のための学習活動		◎日々の授業の中で行う。式の羅列ではなく、筋道と根拠がわかる答案を作ることを目標にする。 ◎答えを導く過程を、説明できるようなプレゼンテーション能力を高める。 ◎単元ごとの小テストや、定期考査ごとの課題(ノート)等を参考にして評価する。	
評価方法		◎各定期考査による成績。 ◎単元ごとの小テストや、定期考査ごとの課題(ノート)等を参考にして評価する。	

数学・理数数学I(数学A分野) 1年 理数科 2単位

目 標		場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教科書		数学A【啓林館】(61啓林館/数A325)
副教材		エスコート 数学I+A【啓林館】
時 期		学 習 内 容
4月	4/10~ 4/17~	数学A 補足資料 集合 <数I 第4章 集合と命題 の集合部分>
5月	4/24~ 5/1~	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数
	5/8~ 中間考査	第2節 順列・組合せ
6月	5/22~ 5/29~	第3節 確率とその基本性質 第4節 いろいろな確率
	6/5~ 6/12~	
	6/19~ 6/26~	
7月	期末考査	
8月	7/10~ 7/18~	<数I 第4章 集合と命題 の命題 部分> [課題学習]
	8/25~ 8/28~	第2章 整数の性質
9月	9/4~ 9/11~	第1節 約数と倍数 第2節 互除法と不定方程式
	9/19~ 9/25~	
10月	中間考査	
11月	10/10~ 10/16~	第3節 整数の性質の活用 [課題学習]
	10/23~ 10/30~	
	11/6~ 11/13~	
	11/20~ 11/27~	
	12月	期末考査
1月	12/7~ 12/11~	第3章 図形の性質
	12/18~ 1/9~	第1節 三角形の性質 第2節 円の性質
2月	1/15~ 1/22~	第3節 作図 第4節 空間図形 [課題学習]
	1/29~ 2/5~	
	2/13~ 2/19~	
3月	2/26~ 学年末考査	
	3/12~ 3/19~	問題演習
言語活動の充実のための学習活動		◎日々の授業の中で行う。式の羅列ではなく、筋道と根拠がわかる答案を作ることを目標にする。 ◎答えを導く過程を、説明できるようなプレゼンテーション能力を高める。 ◎単元ごとの小テストや、定期考査ごとの課題(ノート)等を参考にして評価する。
評価方法		◎各定期考査による成績。 ◎単元ごとの小テストや、定期考査ごとの課題(ノート)等を参考にして評価する。

理科 理数生物 1学年・理数科 2単位

目 標		生物に関する基本的知識を身につけると共に、科学的・理論的な思考力を養う。また、実験を通して自分で作業し、レポートを作成し、考察することで知識を深める。	
使用教科書		数研出版「生物基礎」 第一学習社「高等学校 生物」	
副 教 材		実教出版「サイエンスビュー生物総合資料集」三訂版 第一学習社「セミナー 生物基礎＋生物」	
時 期	学 習 内 容	評 価 規 準	
4月	4/10～ 4/17～	導入 顕微鏡実験 生物基礎	○観察実験を通じて、科学的なものの考え方ができるか。(関・思・技・知) ○進化の視点もふまえた上で、生物の多様性と共通性を理解する。(関・思・知) ○植生と光環境の関係を理解する。(関・思・知)
	4/24～ 5/1～	第3編 生物の多様性と生態系 第4章 植生の多様性と分布	
5月	5/8～ 中間考査	1. さまざまな植生 2. 植生の遷移 3. 気候とバイオーム	○一次・二次遷移、乾性・湿性の様子を理解する(関・思・知) ○様々な地域のバイオームを理解する。(関・思・技・知) ○暖かさ指数を使い、バイオームを理解する。(技)。
	5/22～ 5/29～	生物 第1編 生命現象と物質	
6月	6/5～ 6/12～	第1章 細胞と分子 1. 生体物質と細胞	○元素から細胞という構造上の階層性を持って生物を理解する。(関・思・知) ○アミノ酸の基本構造、タンパク質の分子構造、性質を理解する。(関・思・知) ○酵素の特性、機能の調節機構について理解する。また、実験を通してそのしくみを理解する。(関・思・技・知)
	6/19～ 6/26～	2. 細胞膜を介した物質の移動 3. 生命現象とタンパク質	
7月	期末考査		○原核・真核細胞の違いと、真核細胞の構造について理解する。(関・思・知) ○細胞内における構造を維持するタンパク質の働きを理解する。(関・思・知)
7月	7/10～ 7/18～	第3章 遺伝情報の発現 1. 遺伝情報とその発現	○DNAの構造を理解し、染色体との関係を理解している。(関・思・技・知) ○DNAの抽出実験を行い、DNAの特徴の理解を深める。(関・思・技・知) ○DNAの複製のしくみ、岡崎フラグメントを理解する(関・思・知) ○DNAとタンパク質、そして形質との関係を理解している。(関・思・知)
	8/25～ 8/28～	①DNAの構造 ②DNAの複製のしくみ	
8月	9/4～ 9/11～	③遺伝情報の発現 ④DNAの塩基配列の変化と形質の対応	
	9/19～ 9/25～		
9月	中間考査		
	10/10～ 10/16～	2. 遺伝子の発現調節 ①真核生物における遺伝子の発現調節 ②原核生物における遺伝子の発現調節	○遺伝子が発現するときの経路とゲノムの多様性を理解する。(関・思・知) ○遺伝子発現が転写レベルで行われていることを理解する。(関・思・知)
10/23～ 10/30～			
11月	11/6～ 11/13～	3. バイオテクノロジー ①遺伝子を扱う技術	○遺伝子を用いたバイオテクノロジーの原理を理解する。(関・思・知) ○PCRを、実験を通して理解する。(技) (2年次にバイオ大学にPCRの実習を実施する。)
	11/20～ 11/27～	②バイオテクノロジーの応用 ③バイオテクノロジーの課題	
11月	期末考査		
	12/7～ 12/11～	生物基礎 第2編 生物の体内環境の維持	○体液の働きや、心臓を中心とした循環系について理解している(関・思・知) ○腎臓や肝臓の働きについて、尿生成のしくみと共に理解している(関・思・技・知) ○ブタの肝臓や心臓、肺を用いた実験でその理解を深める。(関・思・技・知) ○自律神経の働きやホルモンによる調節、特に血糖量調節について知ることで、健康や進化について考える。(関・思・知)
12/18～ 1/9～	第3章 生物の体内環境 1. 体液という体内環境 2. 腎臓と肝臓		
1月	1/15～ 1/22～	3. 神経とホルモンによる調節	
	1/29～ 2/5～	4. 免疫	○免疫で働く細胞やシステムを理解し、健康に関心を持つ(関・思・知) ○免疫に関わるタンパク質について理解する(生物)。(関・思・知)
2月	2/13～ 2/19～		
	2/26～ 学年末考査		
3月	3/12～ 3/19～	生物1年間の復習	○生物1年間の学習を理解している。(関・思・知)
言語活動の充実のための学習活動	授業中や実験時に結果を予想したり、結果を分析して考察を自分の考えで表現するために発表をする。また、表・グラフ・式などを用いて、適切に自分の考えを表現する。		
評価方法	各定期考査・課題テスト・小テストにおける成績や取り組み、実験レポートの結果・ノート提出を総合して評価する。		

理数科 理数地学 対象学年・科 1年理数科 (単位数) 2単位

目 標	自然界における様々な事象の因果関係を正しく理解させながら、地球と宇宙の全体像、およびその歴史を把握させ、自然を総合的に見る視点を養う。また、人間と自然の関わりについて幅広く考察することができる能力をつけさせる。	
使用教科書	地学基礎(実教出版)	
副 教 材	フォトサイエンス地学図表(数研出版)、ベストフィット地学基礎(実教出版)	
時 期		
4月	4/10～ 4/17～ 4/24～ 5/1～	第1章 1. 地球の形と大きさ 実習. 地球の大きさ 2. 地球内部の構成 実習. 岩石と鉱物の鑑定、鉱物の性質
5月	5/8～ 中間考査	※理数科野外実習1(4/27 6～7限) 米原高校周辺
6月	5/22～ 5/29～ 6/5～ 6/12～ 6/19～ 6/26～ 期末考査	3. プレートの運動 大地形の形成 4. 火山と地震 実習. 火成岩の特徴を調べる 実習. 火成岩の造岩鉱物の性質を調べる 実習. 地震災害、震源を求め、変成岩 実習. いろいろな地形の観察
7月	7/10～ 7/18～ 8/25～	第2章 1. 地層と化石 実習. 化石の観察 実習. 地層の重なり方と地層中の構造
8月	8/28～ 9/4～	2. 古生物の変遷と地球環境
9月	9/11～ 9/19～ 9/25～ 中間考査	※理数科野外実習2(7/24～26) 勝山～乗鞍
10月	10/10～ 10/16～ 10/23～	第4章 1. 太陽系の中の地球 実習. 流星の観察、惑星の観察 2. 太陽とその進化 実習. 太陽観測、太陽の光の観察 実習. 太陽エネルギー量の測定 実習. HR図・恒星の進化
11月	11/6～ 11/13～ 11/20～ 11/27～ 期末考査	3. 宇宙のすがた 実習. 宇宙の膨張モデル ※理数科フィールドワーク(10/11) 琵琶湖博物館、他 ※理数科天体観測実習(11月上旬)
12月	12/7～ 12/11～ 12/18～	第3章 1. 大気構造と運動 実習. 大気圧の大きさを調べる 2. 大気の大循環 ①大気の運動 ②日本の四季の気圧配置と天気の特徴
1月	1/9～ 1/15～ 1/22～ 1/29～	3. 海洋の構造と海水の循環 ①海水の構造 ②海水の運動
2月	2/5～ 2/13～ 2/19～ 2/26～ 学年末考査	実習. 海水の運動と構造を調べる
3月	3/12～ 3/19～	第5章 1. 日本の自然環境 2. 地球環境の科学 実習. 酸性雨の測定
言語活動の充実のための学習活動	上記のような実習(観察)を含め、大小年間で20回ほどの実習を行い、その際にレポートなどを提出させる。	
評価方法	各定期考査の成績、小テストの成績、実習レポートの成績などを総合して評価する。(【意欲・関心・態度】については、毎時間の授業、およびテストなどで評価する。【技能】については、実験や実習がきちんとできるか、レポートはかけるかなどを評価する。【思考・知識・理解】については、平常の授業やテストなどで学習したことが理解できているかを確認する。)	